

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科 (新課程)	夜・通信			140	140	13	
看護学部	看護学科 (旧課程)	夜・通信			154	154	13	
(備考) 看護学部看護学科 (令和3年度新設、1年生、2年生は新課程、3年生は旧課程)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.matsutan.jp/college/report

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.matsutan.jp/college/report

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市町村 議員	2022. 5. 29 ~ 2026. 5. 28	産学官・社会連携関係
非常勤	学校法人 理事長代 行	2022. 5. 29 ~ 2026. 5. 28	教務・入学試験関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 教務委員会が主となり、記入項目の検討を行ったのち、授業担当者へ執筆の依頼を行う。原稿集約後は、教務委員会および事務局担当者が点検を行う。</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成・公表時期】 毎年度末までに作成し、4月以降に、ホームページ上で公表を行うこととしている。</p> <p>【シラバスに記載する主要内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要(教科目名、単位数、時間数、必修選択区分、授業形態、開講年次・時期) ・オフィスアワー ・科目概要、到達目標、ディプロマ・ポリシーとの対応、履修条件 ・事前、事後学習に関すること ・授業内容(各回の講義内容、担当者) ・成績評価基準 ・担当教員の実務経験と授業科目との関連 	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ https://www.matsutan.jp/college/report ・ 刊行物(シラバス) [入手方法: 本学事務局]
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の学修成果獲得を厳格かつ適正に評価するため、授業科目ごと授業計画書(シラバス)に成績評価方基準を明示している。担当教員はこの成績評価方法に沿い、適正に単位認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学業成績を総合的に判断する指標としてGPAを導入し、学生個人に開示することで自身の学習状況を把握し、学習意欲の向上と学修目標の設定に資するようとしている。

【評価基準】

評価名	区分	評点	GP	評価基準
秀	合格	100-90	4.0	当該科目の目的・内容をほぼ完全に修得し、応用力が付いたと認められる
優	合格	89-80	3.0	当該科目の目的・内容を十分に理解し、修得したと認められる
良	合格	79-70	2.0	当該科目の目的・内容の基幹部分は理解し、修得したと認められる
可	合格	69-60	1.0	当該科目の目的・内容の最低限の理解は得られたと認められる
不可	不合格	59-0	0.0	当該科目の目的・内容の理解には及ばない

【GPA算出方法】

学期 GPA = $\frac{\text{（当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数）の総和}}{\text{当該学期の履修登録した履修科目の総単位数（不合格の単位数を含む）}}$

※学期 GPA、学年 GPA、累積 GPA の3種類がある

【公表】

・成績評価基準及びGPA算出方法はシラバスや学生便覧等に記載し、ホームページ上で公表している。

【成績評価の適切な実施に係る取組】

・成績評価については、上記のようにあらかじめ設定した成績評価基準、GPA算出方法によりGPAの数値を算出し、適切に実施している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.matsutan.jp/college/report ・刊行物（学生便覧）[入手方法：本学事務局]
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

長野県及び松本医療圏の現状を踏まえ、地元の医療機関等に地域の現状に適した能力を有する人材を育て、地域社会における保健医療福祉の向上に寄与することを研究上の目的としており、この研究上の目的を具体的に示した「学位授与の方針」を定めている。

この「学位授与の方針」は、「入学者受け入れの方針」「教育課程編成・実施の方針」とともにホームページ上で公開することとしている。

卒業認定、学位の授与に関しては、卒業要件や学位授与の方針より、学長が決定を行うにあたり教授会において意見を述べることで、適切に実施することとしている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.matsutan.jp/college/report ・刊行物（学生便覧）[入手方法：本学事務局]
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.matsutan.jp/college/report
収支計算書又は損益計算書	https://www.matsutan.jp/college/report
財産目録	https://www.matsutan.jp/college/report
事業報告書	https://www.matsutan.jp/college/report
監事による監査報告(書)	https://www.matsutan.jp/college/report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ー

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部看護学科
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
(概要) 生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通して知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者を育成する。 また、教育研究上の目的に内包される 3 つの柱を別に定める。 1) 人間性 2) 看護実践力 3) 地域貢献
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
(概要) 所定の卒業要件単位を修得し、次のような能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し学士(看護学)の学位を授与する。 【到達目標】 1) 多様な人々との関係を成立・発展することができる。 2) 主体的に行動することができる。 3) 多職種と連携し、地域の保健医療福祉の向上に貢献することができる。 4) 課題を発見し、課題解決を図ることができる。 5) 看護の知識と看護実践力を有する。 6) 地域社会の多様な健康課題に対応できる力を有する。(保健師課程履修者)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
(概要) ディプロマ・ポリシーに内包される具体的な能力とそれらを育成するためのカリキュラムを編成する。 1) 「多様な人々との関係を成立・発展できる能力」を身につけるための科目を教養科目、専門科目に配置する。 2) 「主体的行動力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門科目に配置する。 3) 「地域貢献力と多職種連携能力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。 4) 「課題発見能力と課題解決能力」を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。 5) 「看護の知識と看護実践力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。 6) 「地域の多様な健康課題に対応できる力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。 7) 授業形態は教育の目的に応じて講義形式、演習形式、実習形式の 3 つに区分し、下記の方針に従った教育方法を行う。 ・ 知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式をとる。 ・ 態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、

<p>演習形式をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理論と実践の統合を図り、臨地の場において理論的知識や技術を看護実践に応用展開するための能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式をとる。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要)</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>【入学者の受入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 入学後の大学教育に必要な基礎学力を有している人。(知識・技術) 看護・保健・医療・福祉分野に広く関心のある人。(関心・意欲) 人間の生命を大切に思い、誠実な態度で他者と関わることができる人。(多様性・協働性) 看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している人。(主体性・関心・意欲) 人々と良い関係を持ち、自分の考えを的確に表現する力が備わっている人。(多様性・協働性・思考力・判断力・表現力) 主体的に考え行動できる人。(主体性) 大学で学んだ看護学を地域社会の為に生かそうという志のある人。(意欲) <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>入学志願者の大学教育を受けるに相応しい学力の3要素(「知識・技術」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性(主体的を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)」)と、看護職者として地域で活躍し、地域に貢献することに対する「関心・意欲」の両面を多面的・総合的に審査する。多様な資質の入学者を選抜する観点から一般選抜、特別選抜、社会人選抜の3種類の選抜方法を設ける。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
看護学部看護学科	—	8人	3人	6人	6人	3人	27人
b. 教員数 (兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		22人					22人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report					
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部 看護学科	70人	67人	95.7%	210人	220人	104.8%	-人	0人
合計	70人	67人	95.7%	210人	220人	104.8%	-人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部 看護学科	-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
合計	-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				
・令和3年度新設のため卒業生なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、毎年度末までに作成し、4月以降にホームページ上で公表を行うこととしている。シラバスに記載する主要な内容を以下に記載する。

- ・授業概要 (教科目名、単位数、時間数、必修選択区分、授業形態、開講年次・時期)
- ・オフィスアワー

<ul style="list-style-type: none"> ・科目概要、到達目標、ディプロマ・ポリシーとの関連、履修条件 ・事前、事後学習に関すること ・授業内容（各回の講義内容、担当者） ・成績評価基準 ・担当教員の実務経験と授業科目との関連
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
 学生の学修成果獲得を厳格かつ適正に評価するため、授業科目ごと授業計画書（シラバス）に成績評価基準を明示することとしている。担当教員はこの成績評価方法に沿い、適正に単位認定を行うこととしている。
 卒業認定、学位の授与に関しては、卒業要件や学位授与の方針より、学長が決定を行うに当たり教授会において意見を述べることし、適切に実施することとしている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科（新課程）	130 単位	有・無	単位
	看護学科（旧課程）	130 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.matsutan.jp/college/report>
 刊行物（学生便覧）〔入手方法：本学事務局〕

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
看護学部	看護学科	880,000 円	200,000 円	510,000 円	2年目以降は、その徴収額が660,000 円に変更。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、以下の取り組みを通して、学生の修学に係る支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員によるチューター制度を実施。また、オフィスアワーを設定し、修学上の様々な相談に対応。 ・各種奨学金の採用について、学内説明会の開催等の実施。 (日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金など)
b. 進路選択に係る支援に関する取組

<p>(概要)</p> <p>本学では、大学での学び方やキャリア形成支援、進路等についてキャリアガイダンス、国家試験対策ガイダンス等、学生の進路選択に係る支援を行う。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none">・年度当初のオリエンテーション時に、健康管理についての指導や健康診断による学生の健康状況の把握に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法 : https://www.matsutan.jp/college/report</p>
